

# 父の故郷 大分訪問

比残留2世・利光カルロスさん

## 従兄弟ら親族が出迎え

「父の故郷・大分市を訪れた。22日まで県内に滞在。父の生家や母校などを訪ねる。」

残留日本人2世の日本国籍取得支援に取り組み日本財団とNPOが招いた。父和乎さんと母テオグラシアさんの間にセブ島で誕生。第二次世界大戦でカルロスさんは祖父母の元に疎開したが、父は戦死、母と妹も消息不明

となっていた。

父の名と出身地が分からず、親族に照会したり、元毎日新聞社員、利光昭夫さん(72)は5月、カルロスさんから送られた写真を見て「和乎おじさん」と分かった。父寛平さんから生前、何度も見せ

られていたからだ。空港に降り立つと従兄弟の正人さん(81)ら5人が抱き合い喜んだ。「父の故郷。うれ

しい」と語るカルロスさん。5人も「長生きして人生をエンジョイしよう」と話しかけた。

【祝部幹雄】



大分空港に到着し、従兄弟の利光寛さん(中央)、正人さん(左)の歓迎を受けるカルロスさん